

総合工学委員会 科学的知見の創出に資する可視化分科会小委員会の設置について

分科会等名：可視化の新パラダイム策定小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	総合工学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	分野横断型のデータ可視化技術は、1980年代後半に欧米の研究機関から発信が開始され、四半世紀をかけてあらゆる学理に浸透してきた。その技術を今後さらに発展させていくためには、新たなパラダイム(基本理念)を策定する必要がある。そこで本小委員会では、第23期の総合工学委員会において、可視化のあるべき姿を捉えるために取り纏められた提言「科学的知見の創出に資する可視化に向けて」(2017年8月8日付)を基軸に据え、可視化と接点をもつ情報学周辺の最新シーズの利活用に加え、可視化が重要な役割を果たしてきた代表的な応用分野からの新たなニーズの発掘、そして可視化情報の最終評価者である人間の本質的理解の、互いに直交する三方向からこの課題にアプローチし、新たな提言に繋げていく。
4	審議事項	1. 可視化と接点をもつ情報学周辺の最新シーズの利活用の調査 2. 代表的な可視化応用分野からの新たなニーズの発掘 3. 可視化情報の最終評価者である人間の本質的理解に係る審議に関すること
5	設置期間	平成30年6月11日～平成32年9月30日
6	備考	※24期初設置